

京都新聞社賞



「ハイポーズ」 深井 征子
三室戸寺(宇治市)

KBS京都賞



「古都での休日」 野子 弘
下鴨神社(京都市左京区)

エフエム京都賞



「先生上手に撮ってね」 松島 武夫
鴨川(京都市北区)

NHK京都放送局賞



「白川子供まつり」 下農 昭夫
白川(京都市東山区)

奨励賞



「み〜つけた!」 井村 響子
南田辺(舞鶴市)

優秀賞



「新緑と、つつじに囲まれて」 平田 良夫
蹴上浄水場(京都市東山区)



「桜日和」 谷 八紘
淀川河川公園(八幡市)



「桜の下に遊ぶ」 木下 正治
京都御苑(京都市上京区)

佳作



「対称の美」 大田 嘉治
宇治川(宇治市)



「朝摘み」 奥村 博己
和束町白栖(相楽郡)



「川遊び」 北 正弘
白川(京都市東山区)



「春に咲く頃」 北垣 正則
峰山町(京丹後市)



「よっこらしよ」 新森 敏弘
京都御苑(京都市上京区)

佳作



「相合傘(愛々かさ)」 近藤 博保
涉成園(京都市下京区)



「大樹の恵み」 塩見 芳隆
京都御苑(京都市上京区)



「アジサイ」 澤田 靖子
白川五条(京都市東山区)



「花摘む女」 城田 祥男
久御山町(久世郡)



「グリーントネル」 角田 剛彦
木津川市役所(木津川市)

佳 作



「町中のオアシス」 立山 明宏
白川(京都市左京区)



「お父さんと一緒」 富永 良明
宇治市植物公園(宇治市)



「落葉と遊ぶ」 永井 眞知子
府立植物園(京都市左京区)



「巨大な壁」 西橋 弘
背割り堤桜(八幡市)



「コンサート」 疋田 真也
梅小路公園(京都市下京区)

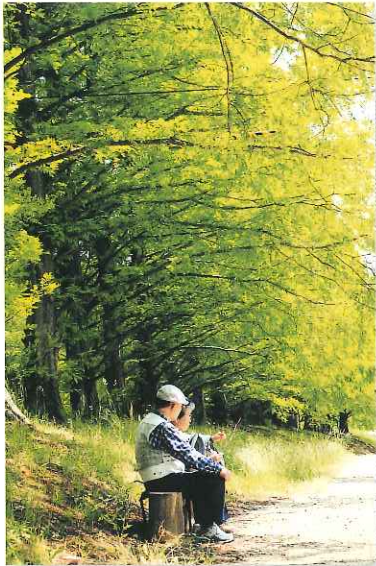
佳作



「水と緑とSLのまち」 眞鍋 豊
京都水族館(京都市下京区)



「冷たーい」 三浦 昭治
梅小路公園(京都市下京区)



「語らい」 三宅 憲二
舞鶴自然文化公園(舞鶴市)



「黒竹林」 山崎 雅克
松花堂庭園(八幡市)



「酷暑」 吉川 浩美
鴨川(京都市上京区)



「花よりブランコ」 米津 惟
深田川公園(向日市)

第28回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 小幡 豊(京都写真家協会)

総評

応募作品数は539点、応募者数は190名でした。若年層を対象とした「奨励賞」を設けた結果、今回20歳～39歳の方の出展が増加しました。作品傾向にも変化の兆しが有りました。60～79歳の皆様の出展が今回も100名を超えています。入賞比率も圧倒的です。引き続き牽引していただくと期待しております。花や新緑をはじめ植生だけに眼を奪われると只の「説明写真」になります。撮影者の素直なお気持ちを込めて「感動」をお伝えください。昨年、「しっかりとプリント作業を整える」と指摘しました。今回大幅に改善されました。更にレベルを上げる作業は「お店」にプリントを依頼する際「仕上がりの色やコントラスト」に「私の色彩を込めて」依頼してください。作品が良くなります。今回も「惜しい作品」がありました。ピントがぶれる場合はシャッタースピードも上げて下さい。コンクールには「募集主題」と「応募企画」が最初の審査基準になります。今回この2点で審査失格となる作品がありました。今一度応募要項をご覧になって応募して下さい。良い作品でも審査から外します。ご注意ください。

1 京都府知事賞 「仲よし」

地味ですが「1人と6羽の情景」は1羽と1人の会話、傍らの其々の声さえ聞こえてきそうです。音声を入れて楽しみたいくなるくらいの作品です。この穏やかな瞬間を発見し感動している作者の想いが審査委員に伝わりました。作者は6羽の個性的な配置も振る舞いも良くご覧になっています。絶妙なシャッターチャンスを掴んでいます。

2 京都市長賞 「新緑の頃」

糺の森で「絵」を書いていらっしゃる方をレンズの効果も使いながら巧みに作品に仕上げました。包み込むような緑のコントラスト、構図を踏まえた光のグラデーションと奥行き感、絵描きの立ち姿、細やかな視点と仕上がりを予測し応募主題を踏まえた感動的な上手い作品です。

3 特別賞(木津川市長賞) 「忘れがたき古里」

作者は土手に咲くコスモスだけに留まること無く、道に沢山の思い出があるのでしょうか。少しアングルを上げて背景の田園風景を取り込み、花卉の彩りを強調すると気持ちが迫ってきます。

4 (公財)京都府公園公社理事長賞 「戯れ」

お母さんらしき手が無ければ作者と被写体が親子関係かと見間違います。この手が無くても一枚の作品になります。どこか可笑しなお母さんの手が作者のお気持ちと承ります。楽しい作品です。

5 (公財)京都市都市緑化協会理事長賞 「秋空の下で」

秋空の効果を上手く引き立たせています。ダンスの練習をする皆さんの音も聞こえてきそうです。広角で被写体に迫りローアングルから見上げると変わります。

6 (社)京都府造園建設業協会賞 「夏の木々盛り合わせ」

若い人の作品です。コンクリートベンチの形状や公園の木々を一つの風景に仕上げる発想はこれまでに無い視点です。新鮮な発想は「創作」へ繋げていきます。写真で表現する道に繋がる可能性を見取れます。カラッとしたプリントに個性も発見できました。

7 京都府市長会会長賞 「初秋の里」

作者は美山のこの場所をよくご存じです。構図も手慣れ光線の掴み方も理解されています。昔ながらの郵便ポストと人の配置楽しいですね。

8 京都府町村会長賞 「山里の春」

作者は子供たちを作品化させる感性に長けている様ですね。昨年に引き続きシャッターチャンスも上手く、迫る技法に作者の人柄が出ています。

9 京都新聞社賞 「ハイポーズ」

今回の作品の中で最もインパクトの強い作品です。三室戸寺の紫陽花がこの女性たちを解放的にさせたのでしょうか。紫陽花の花言葉に「元気な女性」があるそうです。これだけ楽しんでいただけたら、さぞ紫陽花も喜んでいないのでしょうか、見ていて嬉しく楽しい作品です。配置も上手い。

10 KBS京都賞 「古都での休日」

面白く楽しい作品です。シャッターチャンスが絶妙です。偶然か狙ったものかは定かではありませんが「古都には和装が良く似合う」作者のコメントも楽しい。心軽やかに写真を撮っておられる作者のお人柄がうかがわれます。

11 エフエム京都賞 「先生上手に撮ってね」

「あらあら、桜の木が泣いているかもしれませんよ」と作者に関わりなく一声かけてしまいそうですが御子達の笑顔が素晴らしい。ローアングルから撮影している先生も入れながら楽しいひと時と笑顔を頂きました。

12 NHK京都放送局賞 「白川子供まつり」

親も子供も必死です。捕まえた瞬間の歓喜より捕まえようとしている親子のすがたが気持ちが画面から伺えます。白川の雰囲気もしっかり捉えています。

13 奨励賞 「み～つけた!」

この二人の御子達は何を見つけたのでしょうか。作品の作者は年齢別区分で「～19歳」の女性です。コメントに「池の中には彼らの好奇心が溢れている」と記載されています。審査員も「見～つけた」と歓喜しました。作風や技法に手慣れた感じが無くストレートに荒っぽく、良い作品です。

14 優秀賞 「新緑と、つつじに囲まれて」

この車椅子は何方のでしょうか、不思議な趣をかもし出しています。新聞を見ている男性と会話を楽しんでいる女性の皆さんの関係性も素晴らしいと思います。

15 優秀賞 「桜日和」

満開の桜街道、桜の精に包まれているかのようです。園児たちの大きな声が聞こえてきそうな作品です。楽しく撮影が出来たのではないのでしょうか。

16 優秀賞 「桜の下に遊ぶ」

傾きかけた陽ざしに映える桜と若いカップル。光りの掴まえ方、背景の光の演出、際立っています。若いカップルの立ち位置や飛び跳ねた女性の瞬間、全て計算尽くされていますね。

17 佳作

沢山「撮る」と見えなかったものが見えてきます。被写体を前にして腰を引かない、もう一歩前に出る。お気持ちを被せるくらいの気迫が必要です。撮影の時間帯も朝夕に変える、晴れの日ばかりが撮影日和とは限りません。見せたいものを強調すると上位に入選です。



ひろげよう
育てよう
みどりの都市

第28回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集

平成24年10月発行

発行・編集／京都府都市計画協会・(公財)京都市都市緑化協会 印刷／株式会社廣済堂